

2026年3月9日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
株式会社三菱UFJ銀行

「健康経営優良法人2026（ホワイト500）」の認定について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 かめざわ ひろのり 亀澤 宏規 以下、MUFG）および株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一 以下、三菱UFJ銀行）は、本日、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人認定制度^[1]」において、「健康経営優良法人2026（ホワイト500）」に初めて認定されました。なお、「健康経営優良法人（大規模法人部門）」としての認定は、MUFGは2回目、三菱UFJ銀行は3回目となります。

また本年は、MUFGグループ主要各社が「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定され、そのうちMUFGおよび主要5社が「ホワイト500」認定となりました。MUFGグループとして、健康経営に関する取り組み^[2]がグループ横断で広く評価されたものと受け止めています。

【MUFGグループ各社の認定状況一覧】

社名	健康経営優良法人 (大規模法人部門)	健康経営優良法人 (ホワイト500)
三菱UFJフィナンシャル・グループ	2年連続	初認定
三菱UFJ銀行	3年連続	初認定
三菱UFJ信託銀行	7年連続	4年連続
三菱UFJモルガン・スタンレー証券	4年連続	2年連続
三菱UFJニコス	2年連続	初認定
アコム	5年連続	初認定
三菱UFJアセットマネジメント	7年連続	—

MUFGは、パーパス「世界が進むチカラになる。」の実現に向け、社会やお客さまの課題解決に取り組むためには、従業員一人ひとりが心身ともに健康で、いきいきと働けることが不可欠であると考えています。その考えのもと、「MUFG健康経営宣言」を掲げ、グループ一体となって健康経営を推進してきました。

今後も、社員のヘルスリテラシーの向上を図るとともに、生活習慣病やメンタル不調の予防、働きやすい職場環境・制度の整備など、さまざまな取り組みを通じて、従業員とその家族の心身の健康とウェルビーイングの実現をめざしてまいります。そのうえで、MUFGグループとして健康経営をさらに高度化し、社員一人ひとりが最大限のパフォーマンスを発揮できる基盤を強化することで、社会やお客さまをはじめとするすべてのステークホルダーへの価値創出と、グループの持続的な成長につなげてまいります。

[1]「健康経営優良法人認定制度」は、優良な健康経営に取り組む法人を「見える化」し、「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的な評価を受けることができる環境整備を目的とした制度です。このうち、大規模法人部門において特に優れた上位 500 法人が「ホワイト 500」として認定されます。

[2] MUFG の健康経営の取り組みについては、以下ご参照ください。

<https://www.mufg.jp/csr/social/hr/04/index.html>

以 上